

# めぐみイエス・キリスト教会

2019年1月20日(日)新年第三主日礼拝  
週報「通算第440号」



## 2019年標題聖句

### 第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

|          |       |               |
|----------|-------|---------------|
| 第一礼拝     | 毎週日曜日 | 午前10時～11時     |
| 第二礼拝     | 毎週日曜日 | 午後6時～6時45分    |
| 聖書研究・祈祷会 | 毎週水曜日 | 午後6時15分～7時15分 |

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年1月20日(新年第三主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時 第二礼拝 ※午後7時～8時

司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌343 「罪に満てる世界」 p. 546

【交読文】 No.26 詩篇第84篇 p. 899

【賛美Ⅱ】 新聖歌233 「驚くばかりの」 p. 354

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書17章4節～5節(新約p. 197上段)

【祈 祷】

【説 教】 《主イエス・キリストの栄光》 鈴木竜実牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌162 「ハレルヤハレルヤ」 p. 232

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所【ヨハネの福音書17章4節～5節】

17:4 「あなたが私に行なわせるためにお与えになったわざを、私は成し遂げて、地上であなたの栄光を現わしました。

17:5 今は、父よ、みそばで、私を栄光で輝かせてください。世界が存在する前に、ご一緒にいて持っていましたあの栄光で輝かせてください。」

## ●ポイント1 「あなた(父)の栄光を現わした」とは？

### ※ヨハネの福音書5章19節～20節「ユダヤ人への言葉」(新約p.166下段)

そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行なう以外には、自分からは何事も行なうことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行なうのです。それは、父が子を愛して、ご自分のなさることをみな、子にお示しになるからです。また、これよりもさらに大きなわざを子に示されます。それは、あなたがたが驚き怪しむためです。」

### ※ヨハネの福音書12章44節～50節「大声で」 (新約p.188下段)

## ●ポイント2 「あの栄光(主イエス・キリストの栄光)」とは？

### ※ピリピ人への手紙2章6節～8節「人としての性質を」 (新約p.352上段)

2:6 キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることのできないとは考えないで、

2:7 ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。

2:8 キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。

### ※コロサイ人への手紙1章15節～17節「御子によって」(新約p.357下段)

1:15 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべてのものより先に生まれた(存在された)方です。

1:16 なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。

1:17 御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。

### ※黙示録22章13節「使徒ヨハネへのイエス様の言葉」(新約p.461上段)

22:13「私はアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」

## ◎先週のメッセージの概要【確かなものとしなさい(Part II)】

《先週に引き続いて、「2019年標題聖句」からのメッセージ・パートIIです。

さてペテロは勧めます。「信仰には徳を、徳には知識を、知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。そしてこれらのものが備わり、ますます豊かになるなら、私たちは、主イエス・キリストの証人として、役に立つ者となり、実を結ぶ者になる。」そしてその為には、「召されたことと選ばれたこととを、確かなものと」する必要がありますと、シモン・ペテロは言うのです。

それでは「召されたこと」とは、具体的に何を指し示すのでしょうか。パウロは、「あなたがたは、イエス・キリストによって召された人々です。」と語ります。

私たちは主イエス様によって召されたのです。主イエス様は十二使徒に、「あなたがたが私を選んだのではありません。私があなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。」と言われました。私たちも同じです。

そして次に「選ばれたこと」ですが、パウロはエペソ人への手紙において、「神は私たちを世界の基の置かれる前からキリストのうちに選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、ただみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられたのです。このキリストにあって、私たちは御国を受け継ぐ者となったのです。私たちは、み心によりご計画のままをみな実現される方の目的に従って、このようにあらかじめ定められていたのです。」と、説明しています。

何と私たちは、この世界が創造される前からすでに選ばれていたのです。私たちは救われました。ただ一方的な恵みによって。罪から、さばきから、そしてこの世から救い出されたのです。確かにまだ体は、この世に属していますが、私たちが本来いるべき場所とは、天であり御国なのです。主と共に。

今世界は加速的に破滅に向かっていきます。しかし私たちの望みは、主イエス・キリストの再臨にあるのです。「確かなものとしなさい」とは、自分が何者であるのか、しっかりと認識し把握して、またそのように生きることなのです。》

## ◎お知らせ

※次回の礼拝は1月27日(日)です。時間は平常通りです。鈴木牧師は、1月25日(金)お茶の水TPC昼礼拝においてメッセージを担当します。また、次回祈禱会は1月23日(水)午後6時15分からです。